平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月5日

上場会社名　ディーブイエックス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3079　URL　http://www.dvx.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 若林　誠
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　執行役員　(氏名) 魚住　洋二　TEL 03-5985-6827

四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,685	13.4	673	20.2	677	19.1	425	15.8
25年3月期第2四半期	11,187	13.1	560	33.5	569	36.7	367	57.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	75.54	―
25年3月期第2四半期	65.22	―

(注)当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いましたが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,581	3,831	36.2
25年3月期	9,996	3,541	35.4

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　3,831百万円　25年3月期　3,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	25.00	25.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,961	9.1	1,161	3.3	1,158	4.7	687	0.7	121.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,640,000 株	25年3月期	5,640,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,238 株	25年3月期	1,238 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,638,762 株	25年3月期2Q	5,638,762 株

(注)当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いましたが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
第２四半期累計期間 …… 5
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間におけるわが国の経済は、個人消費が底堅く推移し、住宅投資も消費税率引き上げ前の駆け込み需要等を背景に大幅に増加したほか、公共投資も、復興需要や緊急経済対策の効果から増加いたしました。為替水準は、期初においては円安が進行したものの、期央以降は１ドル100円前後で比較的安定的に推移する展開となりました。

医療機器業界におきましては、政府の産業競争力会議において、医療・介護市場の成長や、質の高いサービスの提供、制度の持続可能性の確保等について議論が進められました。また、厚生労働大臣の諮問機関である中央社会保険医療協議会において、平成26年４月に消費税が引き上げられた際の診療報酬体系について調整が行われ、消費税増税による医療施設の負担増加分を、基本診療料と調剤基本料に上乗せすることを中心に、診療行為等の個別項目に補填することを基本とする方向で検討が進められました。

このような情勢のもと、当社では、経営の効率化や販売体制の強化に取り組み、業容の拡大を目指してまいりました。その一環として、平成25年４月に名古屋営業所と福井出張所を開設し、営業エリアの拡大に取り組みました。

これらの結果、当第２四半期累計期間の売上高は12,685,082千円（前年同期比13.4％増）、営業利益673,934千円（前年同期比20.2％増）、経常利益677,734千円（前年同期比19.1％増）、四半期純利益425,966千円（前年同期比15.8％増）となり、第２四半期累計期間としては、売上高・各段階利益ともに過去最高を更新いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、心臓ペースメーカやＩＣＤ（植込み型除細動器）、アブレーション（心筋焼灼術）カテーテル、電極カテーテル等の主力商品の販売数量が増加し、当第２四半期累計期間の売上高は10,578,836千円（前年同期比13.7％増）、セグメント利益は1,523,983千円（前年同期比19.6％増）となりました。

② 虚血事業

自動造影剤注入装置「ＡＣＩＳＴ」及びエキシマレーザ血管形成システムの関連商品の販売が好調に推移する一方、円安の影響により輸入商品の仕入価格が上昇することとなりました。その結果、当第２四半期累計期間の売上高は1,844,602千円（前年同期比12.8％増）となり、セグメント利益は655,084千円（前年同期比1.9％増）となりました。

③ その他

当第２四半期累計期間の売上高は261,643千円（前年同期比3.9％増）、セグメント利益は33,211千円（前年同期比0.9％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ574,662千円増加し、9,901,377千円となりました。これは主に、配当金の支払いや借入金の返済等により、現金及び預金が188,798千円減少したものの、売上高の増加に伴って受取手形及び売掛金が610,001千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ10,139千円増加し、680,173千円となりました。これは主に、有形固定資産が10,802千円及び投資有価証券が8,563千円増加する一方、無形固定資産が8,561千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第２四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ584,801千円増加し、10,581,551千円となりました。

（負債）

当第２四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ329,763千円増加し、6,509,480千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が354,408千円増加する一方、1年内返済予定の長期借入金が17,040千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ35,128千円減少し、240,168千円となりました。これは主に、長期借入金が46,336千円減少する一方、退職給付引当金が10,532千円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第２四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ294,635千円増加し、6,749,648千円となりました。

（純資産）

当第２四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ290,166千円増加し、3,831,902千円となりました。これは主に、四半期純利益により425,966千円増加する一方、剰余金の配当により140,969千円減少したこ

とによるものであります。
これらの結果、自己資本比率は36.2％（前事業年度末は35.4％）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の獲得68,596千円、投資活動による資金の支出△52,424千円、財務活動による資金の支出△204,445千円等により、前事業年度末と比較して△188,798千円減少して2,999,868千円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純利益676,946千円に加え、仕入債務の増加354,408千円、売上値引引当金の増加40,218千円、賞与引当金の増加23,000千円等の増加要因があったものの、売上債権の増加△610,001千円、法人税等の支払△239,004千円等の減少要因があったことから、68,596千円の資金の獲得（前年同期は631,333千円の獲得）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得により△51,404千円、無形固定資産の取得により△3,045千円それぞれ支出したこと等から、△52,424千円の資金の支出（前年同期は△22,948千円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払△140,310千円及び長期借入金の返済△63,376千円等があったことから、△204,445千円の資金の支出（前年同期は△190,366千円の支出）となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期通期の業績予想につきましては、平成25年５月15日公表の「平成25年３月期　決算短信」における業績予想から変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,188,666	2,999,868
受取手形及び売掛金	5,489,239	6,099,240
商品	470,215	584,316
繰延税金資産	110,000	133,000
その他	86,879	90,696
貸倒引当金	△18,285	△5,743
流動資産合計	9,326,715	9,901,377
固定資産		
有形固定資産	242,880	253,682
無形固定資産	42,815	34,254
投資その他の資産		
投資有価証券	193,557	202,121
差入保証金	105,573	103,610
繰延税金資産	75,000	76,000
その他	10,208	10,505
投資その他の資産合計	384,338	392,237
固定資産合計	670,034	680,173
資産合計	9,996,750	10,581,551
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,351,567	5,705,976
1年内返済予定の長期借入金	118,412	101,372
未払法人税等	255,000	295,000
賞与引当金	162,331	185,332
売上値引引当金	―	40,218
その他	292,405	181,580
流動負債合計	6,179,716	6,509,480
固定負債		
長期借入金	71,045	24,709
退職給付引当金	127,482	138,015
役員退職慰労引当金	65,868	67,143
その他	10,900	10,300
固定負債合計	275,297	240,168
負債合計	6,455,013	6,749,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	2,863,270	3,148,268
自己株式	△547	△547
株主資本合計	3,521,911	3,806,909
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,825	24,993
評価・換算差額等合計	19,825	24,993
純資産合計	3,541,736	3,831,902
負債純資産合計	9,996,750	10,581,551

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	11,187,264	12,685,082
売上原価	9,237,292	10,472,803
売上総利益	1,949,972	2,212,279
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	503,000	541,765
賞与引当金繰入額	174,586	185,332
役員退職慰労引当金繰入額	3,687	3,900
退職給付費用	11,504	18,305
その他	696,700	789,042
販売費及び一般管理費合計	1,389,479	1,538,345
営業利益	560,493	673,934
営業外収益		
受取利息	76	172
為替差益	8,213	－
デリバティブ評価益	－	1,220
貸倒引当金戻入額	453	12,841
その他	1,272	507
営業外収益合計	10,016	14,741
営業外費用		
支払利息	1,295	676
為替差損	－	10,265
営業外費用合計	1,295	10,941
経常利益	569,214	677,734
特別利益		
固定資産売却益	21	－
特別利益合計	21	－
特別損失		
固定資産除却損	0	788
特別損失合計	0	788
税引前四半期純利益	569,235	676,946
法人税、住民税及び事業税	285,418	277,841
法人税等調整額	△83,930	△26,862
法人税等合計	201,488	250,979
四半期純利益	367,747	425,966

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	569,235	676,946
減価償却費	34,241	34,948
のれん償却額	4,192	4,192
デリバティブ評価損益（△は益）	－	△1,220
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△24,855	△12,541
賞与引当金の増減額（△は減少）	44,281	23,000
退職給付引当金の増減額（△は減少）	6,546	10,532
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	87	1,275
売上値引引当金の増減額（△は減少）	188,949	40,218
受取利息及び受取配当金	△133	△236
支払利息	1,295	676
為替差損益（△は益）	424	523
有形固定資産売却損益（△は益）	△21	－
固定資産除却損	0	788
売上債権の増減額（△は増加）	△333,752	△610,001
たな卸資産の増減額（△は増加）	△27,941	△135,551
仕入債務の増減額（△は減少）	456,892	354,408
未払消費税等の増減額（△は減少）	423	△14,496
その他	△27,146	△65,382
小計	892,719	308,083
利息及び配当金の受取額	133	236
利息の支払額	△1,391	△718
法人税等の支払額	△260,127	△239,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	631,333	68,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,617	△51,404
有形固定資産の売却による収入	32,081	244
無形固定資産の取得による支出	△2,365	△3,045
差入保証金の差入による支出	△6,858	△660
差入保証金の回収による収入	3,008	2,623
その他	△196	△181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,948	△52,424
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	50,000
短期借入金の返済による支出	－	△50,000
長期借入金の返済による支出	△91,252	△63,376
配当金の支払額	△98,356	△140,310
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△758	△758
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190,366	△204,445
現金及び現金同等物に係る換算差額	△424	△523
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	417,594	△188,798
現金及び現金同等物の期首残高	2,231,966	3,188,666
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,649,561	2,999,868

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。